

自然にやさしく、実効性のある防鳥網を使用して下さい！

野鳥と共生する茨城のハス田を求めます

レンコンをカモの食害から守る名目で、茨城県の霞ヶ浦沿岸に展開するハス田に防鳥網が1年中張られるようになって17年になります。ハス田の天井と四周を防鳥網で囲んで、鳥の侵入を防ぐのが建前ですが、鳥の侵入を許し、毎年収穫期の3ヶ月だけでも1,500羽前後の野鳥が網に掛かり、死んでいます。野田市で放鳥した特別天然記念物のコウノトリが、防鳥網が原因で8月末に死んだことは、ご承知のとおりですが、天然記念物のオオヒシクイや、絶滅危惧種のサンカノゴイやツクシガモなども過去に羅網しています。

日本野鳥の会茨城県は、機会を捉え、また、県環境部局の仲立ちを頂き、指導的立場にある茨城県農政部局と定期的に話し合い、収穫が終わったハス田の防鳥網の撤去や正しい網の張り方などを提案し、実践用のレンコン栽培マニュアルの改訂を何度も進言して来ましたが、しかし、本会の建設的な提案に対し、常に無回答で通し、今回の恥ずべきコウノトリの羅網死を招きました。

全国でコウノトリが見られる環境の下地作りは、コウノトリ復帰施設のある野田市に隣接する茨城県の責務です。多様な水辺の生きものがあるハス田は、その核心をなします。この点に鑑み、茨城県農政部局におかれましては、現在主流の防鳥網を実効性のある他の防鳥網に換え、敷設期間の工夫と各種防除方法を組み合わせることで、野鳥と共存するハス田になることを、私たちは強く要望します。

お名前	ご住所

署名簿送り先：310-0055 水戸市袴塚1-4-10 鈴木ビル2F 日本野鳥の会茨城県
用紙が不足する時は、本会にご連絡（TEL&FAX 029-224-6210）下さい。